

パネルディスカッション



卑屈にならない就活のススメ —心が軽くなる仕事選び

去る3月19日公表された内閣府の調査によると、就職できずまたは3年以内に離職した若者は、専門学校生を含む大卒の約半数、中退者を含む高校卒の約7割にのぼっています。これまで指摘されてきた「7・5・3現象」のレベルをはるかに超えるほどに近年の若者をめぐる雇用環境は悪化しています。

わが国の産業構造が大きく転換し、高卒求人が減って、逆に大卒求人は増えています。何故「就職できない大学生」が増えているのでしょうか。大企業や公務員を諦めさせ中小企業に大学生を誘えば問題は、解決するのでしょうか？

正規雇用に就きたいという若者は多いのですが、若年者の過労自殺が増加傾向にあるなど社会の現実をご存知でしょうか。「正規雇用のまともな働き方」について、もっと議論があつていいと思います。

昨年度実施した高校生、大学生、高校教師らを対象にしたアンケート調査に基づき、今の大学生は「働くこと、学ぶこと」に対して社会人としてどれほどの備えができているのか。その分析・報告をして頂きます。

また常見陽平さんには、人材コンサルタント会社の採用活動の経験から、①親が子にすべきこと ②就活の真実 ③就職後、若者が陥りやすい「やりがいの搾取」について語って頂きます。

その後、会場の参加者を交えて企業—大学—学生の関係とそこに介在する人材コンサルタント会社の役割と現状について考えてみたいと思います。

2012年

日時 **6月3日** 午後2時開場
(午後2時30分開始)
(午後5時終了)

会場 **同志社大学**新町キャンパス
「臨光館」R201**参加費500円**主催
NPO法人あつたかサポート共催
社団法人京都勤労者学園

後援

京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、日本労働組合総連合会京都府連合会（連合京都）、NHK京都放送局、KBS京都、京都新聞社、朝日新聞京都総局、日本経済新聞社京都支社、毎日新聞京都支局、読売新聞京都総局、産経新聞社京都総局、特定非営利活動法人きょうとNPOセンター、公益財団法人京都市ユースサービス協会、同志社大学、立命館大学、龍谷大学、京都精華大学、京都女子大学、京都産業大学、佛教大学、大谷大学・大谷大学短期大学部、花園大学、京都光華女子大学、成安造形大学

パネラー

① 「働くこと、学ぶこと」
アンケート調査の
分析と報告



長松奈美江

関西学院大学准教授

現在、関西学院大学社会学部准教授

1980年生まれ、大分県出身。2007年大阪大学大学院人間科学研究科修了。

・「長時間労働をもたらす『不平等』な条件」『現代の階層社会1—格差と多様性』東京大学出版会(2011年)など

② 進学や就活に向けた
若者へのアドバイス



常見陽平

人材コンサルタント、就活作家

就職情報会社勤務、大手メーカー人事担当者などを経験。採用活動の裏の裏まで知っている御意見番。人材コンサルタント、大学講師、著述家。1974年生まれ。北海道札幌市出身。1997年一橋大学商学部卒業。

・「親は知らない就活の鉄則」(朝日新書)「就活の神さま」(WAVE出版)「キャリアアップ」のバカラロー(講談社+α新書)など。

コーディネーター

澤井 勝

NPO法人あつたかサポート理事長
奈良女子大学名誉教授

1942年生まれ、東京都出身。1973年東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。

・「社会的セーフティーネット再構築の基本課題」
大阪市政調査会『市政研究』162号(2009年)
など

申込・お問合せ先

事前に下記の方法で氏名、連絡先（住所又は電話番号、FAX、E-mailアドレス等）をメール又はFAXにてご連絡下さい。

NPO法人あつたかサポート

TEL 075-352-2640

FAX 075-352-2646

e-mail ▶ attaka-support@r6.dion.ne.jp